

3月11日東日本大震災5周年記念式典

感謝台湾～台湾に春の心を届ける夕べ～

交流協会総務部 鳴海麻里

3月11日午後5時、駐日台北経済文化代表事務所代表公邸にて、東日本大震災に多大な支援をしてくれた台湾の皆様、日台のメディアを通じて感謝を届けようと、「感謝台湾～台湾に春の心を届ける夕べ～」の式典を開催致しました。



(高翔みず希組長から沈斯淳駐日代表へ義援金目録贈呈)

この式典は、まさしく「心を届ける夕べ」のタイトルどおり、多くの方々のご厚意で実現できた式典だったのです。

今年は5周年という大きな節目の年でもあり、何か特別な形で台湾に感謝を表せないかと思案していたところ、3月10日に、昨年台湾公演を行った花組の神奈川公演がちょうど終わるということが判りました。昨年2度目の台湾公演を終え、台湾でも大好評を得た宝塚歌劇団に出演して戴ければ、交流協会だけで何らかの式典をやるよりも、より多くの台湾の方々に感心を持って戴き、日本からの感謝の気持ちをより目に見える形で台湾の皆様へ届けることができるだろうと考えました。

しかし、年度末が差し迫る中、予算に限界のある交流協会としては、宝塚歌劇団の皆様に出演料を支払ったり、このためだけに華やかな会場を借り

るのは困難でした。果たして宝塚歌劇団が、出演料無しで歌を歌ってくれるのか……。無理を承知で同歌劇団側に打診したところ、『台湾に恩返しができるのなら』と、ご協力戴けることになったのです。会場は、沈斯淳駐日代表にお願いしてみたところ、代表のお住まいである公邸のホールを使用させて戴くことをご快諾戴けました。まさに“針の穴に駱駝を通す”ようなアイデアただけに、実現の可能性が出てきたことを本当に有り難く思いました。

会場となるホールを下見したところ、スタンドマイクが足りないことが発覚。足りない分は近くのホテルからお借りしようか、隣の老人ホームに借りようかと言うことでしたが、館内から探し出し、事無きを得ました。演奏曲は、事前に宝塚側から送られたCDをカラオケセットに入れて流し、歌劇団の皆さんの着替え室として用意された会議室は、飾り窓から中が見えてしまう、というので中から紙を貼って目隠しをし、姿見はお住まいのお部屋からお借りしました。こうして駐日台北経済文化代表事務所職員の多大なご尽力によ



(挨拶をする大橋光夫交流協会会長)



御挨拶される小川友次宝塚歌劇団理事長

り、実現の運びとなったのです。

さて迎えた3月11日。政府主催の東日本大震災追悼5周年追悼式典に16時まで出席しておられた沈斯淳駐日代表が公邸に戻られたのを待って、来賓の皆様と歌劇団の皆さんが着席し式典が始まりました。

最初に、当協会の大橋光夫会長が、2月6日に発生した台南地震へのお見舞いと、東日本大震災への台湾皆様の支援に対して日本国民はこれからもずっと忘れることはない、日本と台湾との絆は世界一であると挨拶し、続いて宝塚歌劇団小川理事長が、2度の台湾公演成功は台湾の方々の協力もあり大変感慨深いものがある、第二回公演にも台湾南部からも大勢の方が来てくれたが、地震の影響を心配しており、宝塚歌劇団としてもご支援したいと挨拶されました。そしてこの証として、宝塚歌劇団・阪急電鉄(株)・阪神電気鉄道(株)を代表して、花組の高翔みず希組長から、沈斯淳駐日代表に、義援金300万台湾元(約1000万円)の目録が渡されました。

続いて高翔組長が、東日本大震災への台湾側の支援のお礼と、今年の台湾公演に感動したことと、台南の被災者を元気づけたいと挨拶され、花組メンバー8名が“春”をテーマとした2曲——昨年台湾公演で歌った「望春風」を台湾語で、宝塚歌劇団の愛唱歌「すみれの花咲く頃」を合唱すると、

会場は大きな拍手と感動に包まれました。

締めくくりとして、沈斯淳駐日代表より、台南で地震が起こった時に、同所にも多くの日本人からメールや義援金が寄せられたが、東日本大震災で被災した自分の家も再建されていないのに寄付をしてくれる多くの人々が居て、本当に感動した、お互いが災難に遭ったときに手をさしのべ合う相手、それが日本と台湾であり、友情は永遠である、とし、交流協会と宝塚歌劇団が、台湾の人のことを思ってこのような場を設けてくれたことに感謝したいとの言葉を戴きました。

最後に、宝塚歌劇団の皆様と来賓で記念撮影をして式典は終了しました。日本、台湾から多くのメディアが取材に訪れ、主にインターネット動画で配信されたようです。これらニュースを見た台湾の方々から心に暖かいものを感じてくれたら、“春の心”をお届けすることができたのだと思います。日本の東日本被災地域では、今も風評被害等に苦しんでいる多くの方々もいらっしゃいますが、台湾の支援のお蔭で着実に歩み出しています。台湾の被災地域の日も早い芽吹きを春の訪れを、心からお祈り致します。



(前列左より、小川友次宝塚歌劇団理事長、林則媛駐日代表令夫人、沈斯淳駐日代表、大橋光夫交流協会会長、今井正交流協会理事長、陳調和駐日副代表

後列左より、宝塚歌劇団・柚香光様、航琉ひびき様、鳳真由様、芽吹幸奈様、高翔みず希組長、瀬戸かずや様、葉那くらら様、仙名彩世様)